

心のケア研修会

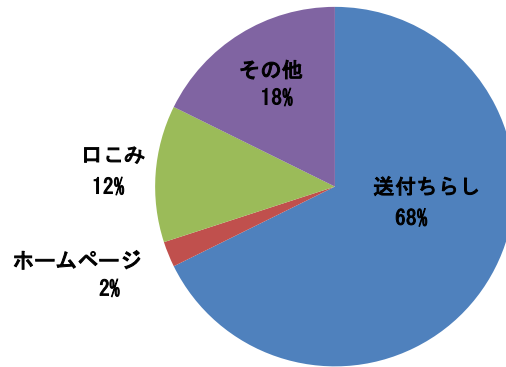
「子どもの心に寄り添う ～子どもの力を引きだすかわり方～」

アンケート集計結果 (H28.10.14 講師：田中万里子先生)

●参加者…158名、アンケート回答者131名 (アンケート回収率 85.6%)

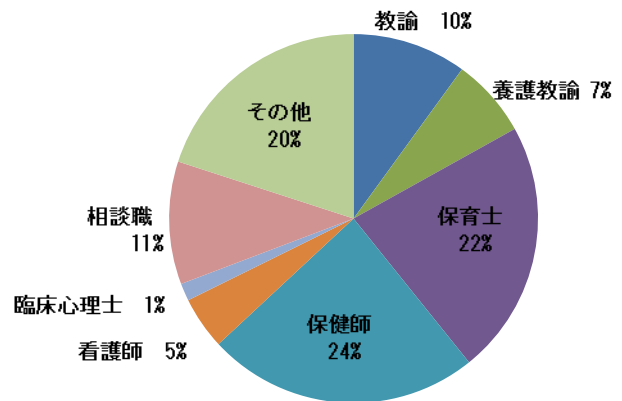
1 本日の講演会は、何でお知りになりましたか？

送付ちらし	88
ホームページ	3
口こみ	16
その他 (勤務先からの案内等)	23



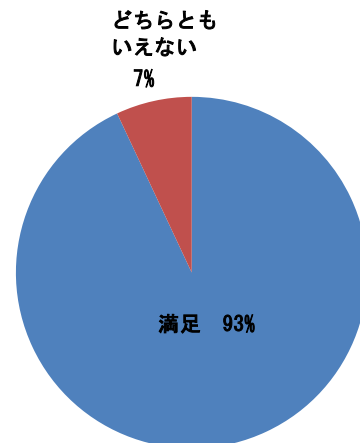
2 ご職業を教えてください。

教諭	13
幼稚園	2
小学校	9
大学	2
養護教諭	9
保育士	29
保健師	31
看護師	6
臨床心理士	2
相談職	14
その他 (里親、NPO職員、主婦等)	26



3 本日の講演会はいかがでしたか？

満足	120
どちらともいえない	9
不満足	0



4 ご感想を教えてください。

- 親としても仕事をする上でも、立止まって自分自身を振り返ることができました。「子どもの幸せ」が明確になりました。子育てにも仕事にも生かしていきます。(児童相談所 相談職)
- ふれあいが大切なことがわかった。(相談職)
- 今の仕事、家庭どちらでも必要な大切なことを学ぶことができました。(児童相談所 相談職)
- 毎年少しずつ違う視点で、感動します。又、次回が楽しみです。(臨床心理士)
- 仕事で出会う子どもたち、自分の子どもをイメージしながら、お話をきいていました。関心を寄せること、視線をむけること、子どもが満足しているかという視点で、主体性をはぐくむこと、実践していきたいと思います。(臨床心理士)
- 音響(マイク)→ピンマイクの方がよかったかも。この世に生まれて来てくれたということに感謝し、心も体も健康であることが何より尊いということ話をうかがって感じたところです。(保健師)
- 子どもだけでなく、大人も信頼された人間関係が幸せを感じると思います。まだ、子どもはいませんが、いつか母になった時は、たくさん見つめてあげたいと思いました。(保健師)
- 1才児の子どもを持つ母親として、とても興味深く聴講させていただき、大変参考になりました。毎日のふれあいをこの先もずっと大切に続けていこうと思います。ありがとうございました。(保健師)
- 一期一会、そうですね！握手・会釈とても大事だと思います。これから、生活で実践します。(保健師)
- いつも癒されます。何度きいても、新鮮な気持ちになるのは何故でしょう。またお会いできる日を楽しみにしております。(保健師)
- 最後の具体的な方法を行えたのがまたよかったです。(保健師)
- 子どものありのままを受け入れるというのはわかっているでも自分の子育てでは難しいところもあった。(保健師)
- 仕事にも家庭にも大事にしていきたい事が明確になった。一場面一場面大事にしたいと感じた。(保健師)
- 現在、県の機関で子どもの心のケア事業を行っています。また、私自身も子育て中(1才半の子ども)で先生の講演をきいていろいろと考えさせられました。ついつい親の思い通りに誘導してしまいがちですが、子どものよい所をみて、よりそいながら育てていければなと感じました。見守ることでむずかしいですが心がけたいです!!ありがとうございました。(保健師)
- 自分自身を考えさせられ、ほんとうにあたたかな気持ちになりました。又、機会があれば参加したいと思います。ありがとうございました。(保健師)
- 前向きになりました。ありがとう。(保健師)
- ふれあいの大切さを再認識できました。安心できる人間関係を構築したいと思います。(保健師)
- 自分自身の子どもとももう一度向きあい直したい、と思いました。愛情いっぱい、甘やかしすぎた、と思っていたけれど、いろいろな評価を私自身も子どもにしていたという反省もこめて、私ができることは、どんな子どもであっても受け入れられるということ、ちゃんとできていなかったなあ・・・(保健師)
- 自分の人生に役立つお話でした。もちろん仕事にもいかしていきます。ありがとうございました。(保健師)

- 幸せになるために必要な、人間として大切にしなければならないことを改めて学ぶことができました。自分の人生や仕事に活かしていきたいと思います。（保健師）
- 乳幼児健診等を通して、親子の愛着形成が弱い様子がみられます。やはりスマホに子育てをさせている母が多く、また「困った時のYouTube」となっており、ブルーライトの刺激になれた子どもたちは大人が叱っても効果がないです。昔ながらの子育ての良さを、全国的にひろげていければと思います。（保健師）
- とても心地よい話のペースでした。これから、今日学んだことを活かして仕事をしていきたいと思います。（保健師）
- 専門職だけでなく、子を持つ親の方に聞いていただきたい内容でした。（保健師）
- 「子供の心に寄りそう」というテーマではあるが、大人同士の付き合い方としても、とても共通するものを感じました。ありがとうございます。（保健師）
- ご自身の体験をふまえての話、とても温かい内容、話し方で、よい時間になりました。ありがとうございました。（保健師）
- 自分自身の生活にも思うところもあり、ゆっくりお話しをきかせて頂きました。日頃母子保健を担当し、母子の関わりに違和感を感じる場所もあり、とても参考になりました。（保健師）
- 子育て中の方、妊婦さんに聞いていただけたら、とてもいいメッセージになると思った。（保健師）
- 忘れていた大切なことを思い出させていただきました。ありがとうございました。（保健師）
- 自分の子育てを振り返りつつお話をききました。子供の人生は子供自身のもの。親の価値観を与えるべきものではないということは本当に身につまされました。（保健師）
- 自分の子育てを振り返る機会にもなりました。支援に関わるケースの方の子育ての中で、子どもをありのままに受け入れることの大切さを伝えていきたいと思いました。育児で悩むその保護者の方のこともすべて受け入れて、支援していきたいと思いました。（保健師）
- このごろ忙しく、下ばかりむいていたような気がします。視線をあわせる、ふれあう、という心のつながりを大切に今日から実行していきたいと思います。ありがとうございました。（保健師）
- 「子供の幸せにとって何が必要か？」幸せって漠然としていて感じ方も人それぞれ、答えにくいな—とっていました。形でないもの”信頼できる人間関係”が基盤にあることで、心も満たされるのだと改めて小さい頃からの母子関係の大切さに気付いた。（保健師）
- 先生の御指摘とおりに、子どもを見ていない親が多いなあと思いますし、子どもと遊べない親もいます。少しの間でも良いので子どもが楽しいと思えるあそびを一緒にできる親がふえてほしいです。子どもが楽しいと思えるあそびを一緒にすると目がきらきらします。（保健師）
- たくさんのことを学びました。あっという間の2時間でした。私も小さいこどもがいるので実生活に活かしていきたいと思います。（栄養士）
- 先生のやさしい語り口に、日頃子育て支援に携わる中で出会ったエピソードを思い出しながらきくことができました。健康と幸せ、信頼関係、素敵なキーワードに触れられて良かったです。（保健師）
- 4人の子供がいて、上の子をあとまわしにしていることが多いので、HUGをして少し彼の心に触れてみたいと思いました。（保健師）
- 日頃、感じていたことが今日のお話でも聞かれました。物質的には豊かになりましたが、心が貧しいと感じます。「目と目を合せて」を心掛けて行きたいと思います。ありがとうございました。（幼稚

園教諭)

- 家族でも職場でも即実行できることばかりでためになりました。(幼稚園教諭)
- 先生の子供時代のエピソード、クライアントのエピソードを聞いて心を打たれ、理論のお話などもあり、とても参考になりました。目を見てコミュニケーションすることは明日からでもすぐできそうです。微笑み、会釈、握手、ハグも TPO を考えながらもしていきたいなあと思いました。(小学校教諭)
- 大切なことを学ぶことができたように思います。子どもたちへの愛情を大切にして、一人一人の心に寄り添っていきたくと考えます。(小学校教諭)
- その子の存在自体を受け入れてあげること、まるごと愛してあげること目線をしっかり交わすこと、それが子育てにとって信頼できる人間関係にとって本当に大切なことだと気づかせていただきました。本当にありがとうございました。(小学校教諭)
- 子育てに限らず、人との関係作りで大切なことを再確認させていただきました。最近、家族と目を合せていないなあと思いましたので、しっかりやりたいと思います。ありがとうございました。(小学校教諭)
- 子育ての話で、基本的に大切なことの話なので、改めて子育ての基本について考えさせられました。ただ、5年がたち、問題が多様化しているので、ケアセンターの活動についても知りたかった。(小学校教諭)
- 存在を認めること。少しずつできるようになっています。(小学校教諭)
- 今、学校現場では全国学力テストの結果で学校間比較され、学校内では学年間で比較されています。つまり平均点より上か下かで教師の指導力が問われます。教師は平均点を上げるため、一斉にプリント・宿題などギリギリやらせます。子どもは、いやでもやらされ、点が良くなればほめられます。すると先生も認められ(教育委員会、校長、親などから)ます。この構図には子どもは不在。子どもがなぜ勉強をがんばり宿題やプリントをやる必要があるのかを考えさせる場面がありません。ぜひ、子どもに自主性をもたせるためにも、先生と子どもとで学習の必要性など一緒に話し合う場があると良いと思いました。ありがとうございました。(小学校教諭)
- 小学校特別支援学級の担任として参加しました。子供の情緒の安定には、自分を受け入れてくれる安心感と視線を合わせることで微笑むことが最も重要だと痛感させられた。また、私は今、5才、2才の母でもあり、妊娠6ヶ月でもあり、教師としてではなく、一人の母親として深く考えさせられることがたくさんあった。もっと、しっかり我が子の顔を見て抱きしめてあげたいと思った。(小学校教諭)
- 無条件で認められる環境づくりを目指したいです。(小学校教諭)
- 今日のお話を学校でも実践できればと思います。まずは「顔を見てあいさつ」からしていきたいと思います。(養護教諭)
- 貴重な話を聞けました。初めての参加でしたが、毎年取組まれているとは存じ上げませんでした。(養護教諭)
- 子どもと目線を合わせて接しようという気持ちに改めてなりました。ただなぜ目線を合わせるとよいかということについてももう少し知りたいと思いました。(養護教諭)
- 仕事がバタバタしていると、ついおろそかにしがちな一人一人との触れ合い、一番大切なことを改めて気づかせてくださいました。ありがとうございました。子どもたちとの出会いに感謝して、今まで以上に触れ合いを大切にしていきたいと思います。子どもたちの頑張りも失敗も全部受け入れて、子

どもが無条件に受け入れられているという感覚を得られるように、大切にしていきます。(養護教諭)

- 先生ご自身の子育て経験も交えたお話で、具体的でわかりやすかったです。子どもたちを幸せにできるよう、もっと子どもをよく見て、まるごと愛せるような大人でありたいと思います。そのような目を子どもだけでなく、周囲にいる人たちへも向けられるよう、努力していきたいです。保健室に来室する子どもたちにも、嫌がられない程度のふれ合いを、心がけていくことを今後の目標にします。今日は、貴重なお話をありがとうございました。(養護教諭)
- 子育て・・・原点に返ったような気がします。ありのまま、そのままを受けとめることを心がけたいです。また、自分には”何でも話せる”と言いながらも言えない人もいます。でも本当に素をさらけだせる人もいと振り返ることができ、自分もまた愛されているのだと実感できました。ありがとうございました。(養護教諭)
- ありがとうございます。Dr. バウマンの教え、本当に素晴らしいですね。子ども達が幸せそうじゃない根幹に母親と視線を交わしていないとは。(養護教諭)
- 1年ぶりのお話、とてもステキでした。また、よろしく願いいたします。(保育士)
- 忙しさあまり、つい忘れてしまいがちなことがあります。一番大切なこと目と目をあわせる、まなざし等、心のやすらぎ大切にしたいです。(保育士)
- 保育士として、一母親として、いろいろ考えさせられた講演会でした。”ふれあい”を大切に保育や子育てをしていたのは間違いじゃなかった、と実感することができました。万里子先生ありがとうございました。(保育士)
- 子どもの幸せのために、ピンチの時には、そばにいてあげたいと感じました。”ハグ”で心も体も元気に過ごせるように・・・。職場・家庭でもすぐに実行していければと思います。(保育士)
- 冒頭で子どもの幸せについて考えた際に「自分で自分のことが分かる子になってほしい」、大人はそのための手助けをするものなんじゃないかと思った。話を伺ううちに、自分の考えがかたよったものではなかったと分かり、安心した。子育てはまだしたことはありませんが、保育士として子どもの幸せを考えていきます。そして自分も幸せになりたいと思います!!貴重なお話、ありがとうございました。(保育士)
- 幸せとはときかれ、いろいろと考えさせられました。1番大切なことが日々の人との関わりの中で生まれてくることが分かりほっとした気持ちになりました♡3歳の娘が居るので、ハグや微笑み、見守ること、大切、大事、愛などをこれからも伝えていけたらなと思います(>_<)ありがとうございました✧(保育士)
- とても良かったです。年長の担任をしています、今日のお話のように子どもの幸せを考えている親、子どもの顔を見ている親はどのくらいいるんだろうと考えさせられる内容でした。自分も今後の保育に活かしたいと思います。ありがとうございました。(保育士)
- 当たり前の幸せに感謝しつつ、最後の一期一会を改めて感謝したいです。(保育士)
- 子が幸せに生きる為に、信頼できる人間関係作りをしたいと思います。職場でも、みつめ合ったり、ハグしたりしてふれ合いを大切にしていきたいです。(保育士)
- 心がほっと豊かになりました。とても貴重なお話をありがとうございました。目と目を合わせ、ハグをするように意識します。(保育士)
- 気持ちがスーっとする内容で良いお話をききました。また明日から今日聞いたお話を実践していきたい

いと思います。ありがとうございました。（保育士）

- 私は保育士ですが、先生がおっしゃられていたように、最近スマホをしている親がお休みの日でも子どもたちを園に預けてリフレッシュされる保護者が多いように感じています。発達にも大きく影響しています。私たちにできること、まずは見つめて、安心感を与えられるよう、実践していきたいと思います。ありがとうございました。（保育士）
- 去年も希望して、仕事で来られませんでした。今年来ることができて良かったです。（保育士）
- 私も子育て真っ最中ですが、無条件の愛を感じさせてあげられているか、考えさせられました。帰ったら娘を抱きしめてあげたいと思います。ありがとうございました。（保育士）
- 今、小4、年小の2人の子どものことをを思い、聴かせて頂きました。どうしても日々の生活に追われ、「早く…」と言ってしまうことが多く、反省…。子どもの声をよくきいて、自分からできるような…主体性が育つよう接して行けたら…。（保育士）
- 子どもたちにとって何が幸せなのかを改めて考えることができるとても良い機会となりました。ありがとうございました。（保育士）
- 普段出来ているようで出来ていない、あたり前のことを気付かされた講演でした。（保育士）
- 参加させていただき、人との向き合い方についての考えが変わりました。4才と2才の子育て真っ最中です。子どもたちに、今すぐ、何をしてあげたいか、しっかり心に入れました。仕事でも、同世代の保護者の方と関わり、沢山のお子さんとうごします。明日から先生のお話を実践していきたいです。（保育士）
- 去年も参加しました。とても心に残る研修なので今年も又聞けたことはとてもありがたいです。私は毎朝子どもと見つめ合い、ハグしてさよならしています。これからも自信を持って続けていきたいです。（保育士）
- 良かったです。自分の振り返りにもなりました。大変ありがとうございました。（保育士）
- 子どもの幸せから考え、子どもの気持ちに寄り添うことが大切ということを学べた。今日はありがとうございました。（保育士）
- 子どもに対してだけでなく、自分と親の関係を見直すこともできました。とても感動する講演でした。全てのこれから出会う人、ものに対しての愛やふれ合いを実感できるよう、そして大切な人へそういうきっかけや感覚を実感して生きていけるような人間関係をできたらと強く思いました。日本は”はずかしい”というのが全面にでてしまいがちですが、一歩前へ出る勇気と愛を感じ、伝えられるヒントを頂いた講演であり、時間・空間でした。ありがとうございました♡（保育士）
- ステキでした♡またきますね。（保育士）
- とても貴重な講演だった。（保育士）
- 現代のかかえてる問題（ゲーム、スマホによる人間交流の減少）については理解できた。（保育士）
- とても勉強になりました。実践します。（保育士）
- 研修会場についてですが、映画を見るときは苦ではないのですが、研修のためにスクリーンを見る、先生を見る、手元を見る（書く）となると2時間座っているのが苦痛でした。体は痛くなる、気分は悪くなる…でひどかったのが、研修会場を変更してほしい。（保育士）
- 「子どもの幸せ」についてあらためて考えさせられました。私はもう成人をすぎた子の母ですが、その信頼できる人間関係になっているか？いざというときドーンとかまえられる安心感のもとになれる

ようにしたいと思いましたが、保育所の職務においても子どもの保護者に対して、きちんと目をみて向き合って対応していきたいと思いました。（保育士）

- 今日で4回目の講演でした。毎回先生の温かい口調のお話。毎回学ぶ事多くすばらしいです。これからも、健康に留意され”迷える子羊”たちを救ってくださいますように。（大学教員）
- 幸せを与えることが目的なのに、幸せが何か考えさせられました。改めて信頼関係とは何かどうすればできるのかわかりました。もっと見つめて、HUGしたいと思います。もう一度子育てしてみたいですね。自分もしてもらえなかったことがありますよね。（大学教員）
- 心にしみる話でした。（医師）
- 自分の子育てでもですが、今後の日本の子供達が心配です。（看護師）
- 心と心、人と人のかかわりから信頼関係をしっかりと保つことの大切さ、わかりやすくありがとうございました。（看護師）
- どうしても親は、危なくないようにと考え、先手を打って、先にやってしまうことが多い。しかし子供を見守って自立できるようにしていくのが親の役目だと改めて感じました。子育てしている時は、目の前の現実に振り回されてしまうが、ある程度大きくなってから振り返り思うこと多々があります。人間関係というのは奥深いと感じました。（看護師）
- よかった。（看護師）
- ”母親の仕事はがまんすること”という言葉がとても納得できました。子の成長を信じて待つことは本当に忍耐のいることです。子育ての中で常に感じていました。先生の言葉でとてもスッキリできた様でした。子どもは自分のいい所も失敗したことも全て含めて、自分の存在が認められて受け入れられたと感じたら愛されているという安心感が生まれると強く感じました。子の幸せを子育ての目的と具体的にすることがとても新鮮であらためてそうなんだと確認できました。ありがとうございました。（看護師）
- 時間が短い（看護師）
- 子どもへの接し方や信頼関係の大切さを改めて学べることができ、良かったです。ありがとうございました。（NPO法人スタッフ）
- 仕事のために役立ちました。（NPO法人スタッフ）
- 約20年前、私が児童養護施設で勤務していた頃に、トラウマに関する講座を東京でうけました。震災後、石巻にボランティアとして入り、そのまま移住してしまいましたが、2011年7月から子どもたちの居場所づくりを始め、プレーワーカーとしてプレーパークを運営しています。本日、先生がお話していた内容は、まさに私自信も課題として抱え、自分のことは自分で考え、決断することが大切と伝えてきたことに再確認でき嬉しく思います。またお会いしたいです。（NPO法人スタッフ）
- 「子宝」という言葉の意味を改めて考えることが出来ました。子ども達の幸せが少しでも増えるよう、頑張っていきたいと思いました。ありがとうございました。（NPO法人スタッフ）
- やさしい口調で、ご自身の体験を交え、具体的にわかりやすいご講演でした。まず、目と目を交わすことからもう一度人間関係を構築していきたいと思います。（NPO法人スタッフ）
- 私自身の子育てを振り返り、大事なことに気付かせてもらいました。ありがとうございました。（子育て支援拠点スタッフ）
- 質疑応答の時間が欲しかった。（子育て支援拠点スタッフ）

- もう少しちがう話だと思っていましたが、子どもとのふれ合いが大事だと心にしみました。わすれがちだったのを気づかせてくれたと思います。（子育て支援スタッフ）
- 信頼関係の大切さを改めて感じました。今の業務は、まさに一期一会…人との出会いをほほえみで大切にしたいと思いました。ありがとうございました。（相談職）
- 相談を受ける時の心構えなど勉強になりました。これからの親にどのようにアドバイスしていったらよいのか難しい。（人権擁護委員）
- 無条件で人を愛する、いとおしく思う大切さを改めて感じました。（人権擁護委員）
- 大変勉強になりました。自分が子育てをしてきて、反省する事が今日の講演とマッチしていたと思いました。3人の子どもを育ててきましたが、子どもの気持ちをわかっていたつもりでも、子どもには子どもの考えがあったと大きくなってから聞かされ、ちょっとショックでした。（主任児童委員）
- ゆっくりした語り口で大事なことを話され、しみ込む様に聴くことが出来ました。おだやかな気持ちになりました。おだやかな気持ちを共有するヒントを沢山得ることができました。（子どもボランティア）
- 互いを大事にする一期一会を忘れてギスギスしていたように思います。信頼出来る人間関係、むずかしいです。セカセカした毎日の中で、今日のようなお話をきくことが「いやし」になり気づきになります。万里子先生にお会い出来ることが「いやし」です。（相談職）
- 以前の講演より心に触れるお話でした。パワーポイントを使った時は映像に目が行ってしまった。（相談職）
- 連続で聞いていて毎回考えさせられます。その年度毎テーマが違って（小テーマ）なるほどと思いました。つい大人目線で物事を考えてしまう自分がいます（反省）（里親、塾スタッフ）
- 人間の根本となる事についてお話頂けたと思います。忘れないようにして日々を過ごして行きたいと思います。
- 親が子どもの未来が心配だと思う先に先への行動・言語は子どもの自主性の芽をつんでしまう。先生のような「今、あなたにとって大切なものは？」「なりたい自分になるために何が必要だと思う？」やさしくおだやかに問いかける大切さを実感した。自分は一番上の息子の育て方にあせりを感じ、誰にも文句を言わせたくない一心で先に先にときてしまった。心理を学ぶことで自己反省し、ここ数年、自分への学習、耐える、待つをモットーに頑張っている。職場で今野先生に出会い、月毎ですが、頭の中で火花がなっているようです。一日数時間ですが、全身が清らかになります。（相談職）
- ・子どもだけでなく、大人でも受け止めてもらえることはとても大事だと理解できた。・業務についても関係者と顔を合わせる事が信頼関係を深める効果的な方法なのだと実感できた。（相談職）
- 「まなざし」の大切さを始めて知った。人と目を合わせる事が苦手で避けているところがあることに気づきました。（相談職）
- 「目を見ること」「顔を合わせること」子どもと親との関係だけでなく、普段の人間関係・人との関わりを良好にするために改めて大切なことだと気づかされた。先生のお話が聞けて良かった。（相談職）
- 子育て中で何が大切なのか教えていただき、ありがとうございました。先回りしないということが大事なのだとあらためて考えさせられました。（相談職）
- 何度きいても心にスツとしみ入り、素直な気持ちになります。ありがとうございました。（相談職）

- 大人の安定も難しい時代と感じます。できるだけ大人の自分が安定と余裕を持って子ども達にゆったりと接することができるよう努めたいと思いました。ありがとうございました。
- 子育てはもう終わってしまいましたが、子どもが小さかった頃のことを思い出して聴くことができました。
- 今までも、今でも子どもと共にすごすことの多い立場にいますが、常に自分の心の安定と子どもの目線に立って、を考えてきました。本日の先生のお話、今後の生活全般に活かしていきたい。来年も伺います。（相談職）
- 無条件に愛情をそそぐ大切さを学びました。そして、それをできていない自分がいると思います。
- 初めて参加させて頂きましたが、大変素晴らしいお話を聴かせて頂き、1回目から参加出来なかった事が残念です。私はもう子育ては卒業しましたが、今後、身内の子どもや近所の子ども達に接してあげたいと思います（今後何らかの形で、お子さんのボランティアをしていきたいと考えています。涙が出そうになりました）（主婦）
- 孫育てをしております。自分はやはり条件付きの愛だなと感じました。今までのやり方を変えられずに…。ここを変えていこうと今日考えました。少しずつだとは思いますが、この先の私の仕事（自分を変えていくこと）だと思いました。
- 子どものしあわせをあらためて考えました。家にかえってじっくりと考え、行動したい。先生のあたたかさが伝わってきました。（主婦）
- まず、心を込めてのふれあい的大事であることを再認識いたしました。相手に心を向ける、いつでも心掛けたいと思います。（教育サービス業）
- 楽しかったです。ありがとうございました。
- 日々、いそがしく、子どもとゆっくり、せつする時間がとれていないような気がして、ゴメンネー、ママだめだなーって思ってしまうこともあったのですが、ハグやふれ合いはいつもしていました。これからもいっぱい見つめて、ハグして、タッチしていきたいと思います。本日はありがとうございました。（主婦）
- 先生にはアメリカから来ていただくのは遠い所大変だと思いますが、また来年も来ていただきたいです。心のケアセンターも交渉が大変だと思いますが、又企画してください。（社会福祉士）

5 今後、どのような内容の講演会をご希望されますか？

- また聴いてみたいと思った。（相談職）
- まずは過去の講演をじっくりみてみたいと思います。（臨床心理士）
- 同じもので（保健師）
- 同様の講演を希望します。（保健師）
- また先生の講演会があったら参加したいと思います。（保健師）
- 援助職向けに、ギャクタイのある家庭への介入、支援について（保健師）
- Q&Aの時間もあると良かったです…子育て真っ最中なので、聞きたいことだらけで…。（幼稚園教諭）
- 田中万里子先生のお話をまたお聞きしたいです。（小学校教諭）
- 日々子育てに奮闘する母親の心を癒す講演会（小学校教諭）
- 日本の教育制度や国がうたっている理念と子どもの幸せにずれやぶつかるところがあるかどうか、も

しあれば具体的に教えてほしい。(小学校教諭)

- 核・中心になる保護者がいない家庭へのアプローチの仕方。(養護教諭)
- 田中先生のお話は、いつ聞いてもとても勉強になります。次回もまた田中先生の子どもたちに関する現代の問題についてきいてみたいなと思っています。(養護教諭)
- ・手遊びうたなどの実技的なもの。・実際のケース(問題行動とかの)を使った話、その解決(その時どんな対応をしたのか)(保育士)
- いわゆる、モンスターペアレントと言われる親への対応が知りたいです。(保育士)
- 母子家庭、父子家庭の問題。その時の子ども心の不安について(保育士)
- 先生にお任せです。(大学教員)
- 続きをお聞きしたいと思います。(大学教員)
- 思春期の子どもとの付き合い(看護師)
- 子どもに関する事(NPO法人スタッフ)
- トラウマについて(NPO法人スタッフ)
- 思春期の子育てについて。(NPO法人スタッフ)
- 今日の田中先生のような心理に関する事などを希望します。(NPO法人スタッフ)
- どのような事でも・・・！待っています。(塾・里親スタッフ)
- また来年度も聞きに来たいと思いました。(相談職)
- 残念な育てられ方をしていた時、その親の受け入れ方はあるのか知りたい。(相談職)
- 大きくなった子どもとの親子の見直しについてぜひお聞きしたいです。(相談職)
- 高齢者の心理が理解できるような内容。できれば例をあげていただき対応の仕方を教えてほしいです。
子ども→いじめをする子どもの心理と対応の仕方、いじめられる子どもの心理と対応の仕方
- 孫とのかかわり方
- 言いたくても言えない、言葉がつまっちゃう→こわいと思う相手にも自分の気持ちをつたえるには。
- 私は現在50代ですが、お恥ずかしいかな、子ども時代、母から否定的なとか絶対視のような評価をされ続けて育ってきたので、現在も自分がダメ人間に感じてしまい、心の病を抱えています。このようなおばさんみたいな(子ども)についてのお話を希望いたします。(主婦)
- 離婚等により片親になった時の子どものケア
- ひきつづき子育ての話をききたい(主婦)
- 是非また宜しくお願いします。ありがとうございました。
- 田中万里子先生の講演(社会福祉士)